

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	太田 公昭	電 話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3385		事務事業名称	情操芸術教育振興事業					短縮コード	経常	3385	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		学校教育法施行規則第25条、第54条の2、小学校学習指導要領 音楽・図画工作、中学校学習指導要領 音楽・美術							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
児童生徒の芸術に対する親しみと心の豊かさを醸成するために、小中学校音楽会、美術展等を実施する。小中学校音楽会は、児童生徒の表現力を豊かにし、芸術活動への参加機運を醸成するために昭和54年ごろに始まった。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
児童生徒は年々増加傾向にあり、芸術活動に関する関心も高まってきている。児童生徒の作品や合唱等の発表の場を多様に設定する必要がある。					大項目（節）	01	学校教育						
					中 項 目	02	義務教育						
					小項目（施策）	02	教育内容の充実						
					細 項 目	01	学習・生徒指導の充実						
03	心の教育の推進												
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	児童生徒 教員							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 児童生徒の作品出品・作品審査、教員研修、小中学校音楽会の原案作成委員会開催（年2回）、実行委員会の開催（年4回）、小中学校音楽会は新型インフルエンザ流行のため中止							
	※平成22年度に計画していること： 音楽鑑賞教室及び夢いっぱい・ふれあいコンサートについては20年度をもって終了。 それ以外は、21年度と同様に実施							
意図 （何を狙っているのか）	児童生徒の芸術活動の活性化を図るとともに、芸術に対する親しみを持たせ、情操の涵養を図る。また、芸術活動に関する教員の資質の向上を図る。さらに児童生徒の芸術文化活動への参加機運を醸成する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	児童生徒数	人	16,337	16,663	16,654	16,858	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	子ども美術展・学校美術館スケッチ展出品数	点	2,738	2,700	2,838	2,800	
	指標2	小中学校音楽会参加児童生徒数	人	2,518	2,500	0	2,500	
	指標3							
成果指標	指標1	出品数／児童生徒数	%	16.8	15	17	15	
	指標2	音楽会参加児童生徒数／児童生徒数	%	15.4	15	0	15	
	指標3	音楽鑑賞教室参加児童生徒数／児童生徒数	%	29.9	0			
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3385	事務事業名称	情操芸術教育振興事業				所属名	指導課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			土・日に展示ができる人的配置や会場の確保等，児童生徒のより一層の芸術に対する親しみと心の豊かさを醸成するための取り組みを進める。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			人的配置，会場の工夫等を行うことにより，成果の増加が望まれる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
美術展、スケッチ展については、来場された方から「他市にないすばらしい美術展ですね。」という賞賛の声を聞く。参観者が、児童生徒の作品のよさに触れることによる満足度も高い。展示された児童生徒、及びその保護者には自信となり、学習意欲の高まりもうかがえる。小中学校音楽会では教員の指導力の向上が見られ、各校の演奏の質も向上している。保護者だけでなく一般市民にも参観していただいております、年々参観者が増え、児童生徒の取り組みに賞賛の声が上がっている。今後、音楽以外の芸術活動にも触れる機会を考えていきたい。									

所属長コメント	情操教育の充実は，子どもたちの心を育てる上で大きな力となるものであり，人的配置や会場の確保等，今後も充実に努めたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			美術展における人員配置については，費用対効果を検証したうえで，順次推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									